

第16回全国高等学校なぎなた選抜大会における 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

1. 開催に当たっては、公益財団法人全国高等学校体育連盟「令和3年度全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する基本方針」及び公益財団法人全日本なぎなた連盟の「行事(活動)再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」を遵守し開催する。
2. 兵庫県新型コロナ追跡システム等を活用した上で実施する。
3. 大会中のけがや熱中症発生等の緊急時に対応できる医療機関を事前に把握する。
4. 参加選手、役員等の安全・安心を最優先とした対策を講じる。

(1) 事前の通知の徹底

選手、監督・引率顧問及び、競技役員（以下、「大会関係者」とする。）に対し、参加決定や委嘱依頼を通知する際に「参加校用通知」、「委嘱者用通知」を用いて感染予防対策について事前に周知する。また参加校については、「体調管理表」・「行動履歴書」への体調等の記入（検温・風邪症状（発熱・咽頭痛など）の有無）と、学校ごとに集約した「体調管理集約シート」の提出を依頼する。競技役員については「体調管理チェックシート」の提出を求める。

さらに、対策・対応の内容を大会当日に会場内へ掲示するなどして周知し、各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認を行う。

(2) 感染防止の3つの基本

① 身体的距離の確保

- ・ 人と人との間隔が、できるだけ2メートル(最低1メートル)空くようにする。

② マスクの着用

- ・ 常にマスク等の着用を徹底する。

③ 手洗い等の徹底

- ・ 手洗い場等に「手洗いは30秒以上」の掲示をする。
- ・ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- ・ 監督・引率顧問は、集合時、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。
- ・ ジェットタオルは稼働を中止する。

(3) 感染が疑われる者が出た場合を想定した対策（準備事項）

- ① 利用施設や必要に応じて衛生部局等とあらかじめ相談し、緊急時の連絡相談先、医療機関等への搬送等の対応について決めておく。

- ② 大会への参加制限を設ける。

以下の項目に、当てはまる場合、大会関係者の大会への参加を制限する。

参加が制限される状況	参加を制限する期間
① 大会関係者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合	治癒するまで
② 大会関係者に発熱などの風邪症状がある場合	症状が改善されるまで
③ 大会関係者が濃厚接触者に特定された場合	自宅待機を要請されている期間
④ 大会関係者がPCR検査を受診した場合	陰性が確認されるまで
⑤ 大会関係者の同居者が濃厚接触者に特定された場合やPCR検査を受診した場合	同居者の陰性が確認されるまで

- ③ 個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加者・大会関係者から得た情報（体調管理表、体調管理集約シート等）について、期間（少なくとも1ヵ月以上）を定めて保存する。

(4) 大会当日

- ① 監督・引率顧問は「体調管理集約シート」、競技役員は「体調管理チェックシート」を持参して、受付に提出する。
- ② 常にマスクを着用し、咳エチケットを徹底する。
- ③ 会場出入り口・トイレなど、所定の場所に手指消毒剤を設置する。
- ④ 会場到着時や試合の前後・食事の前後などに参加者が手洗いをこまめに行うようアナウンスをする。
- ⑤ 手洗い場・トイレに「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ⑥ 手洗い場に石けんの準備をする。（手洗いが難しいようなら、手指消毒のアルコール等を準備する。）
- ⑦ 更衣の際には、更衣室に1度に入室する人数を、入り口に掲示する。感染予防と更衣室の規模を考慮し、自宅や宿舎から直接来場する選手に対して、事前に着替えを済ませて来るよう事前に通知する。
- ⑧ 会場内は、換気設備を適切に運転するなどして、換気を徹底する。
- ⑨ 選手の入退場や待機場所などでの、密集を回避するための人員の配置や動線の確保を行う。
- ⑩ 大会会場内に「大きな声での会話をしない」・「声での応援をしない」等の掲示をする。
- ⑪ 会場施設内で、複数の参加者が触れたと考えられる場所については、消毒する。
- ⑫ 審判旗や競技委員が使用するタイマー等に関しては、使用者が変わる度にアルコール消毒を徹底する。
- ⑬ 試合に出場する選手については、シールドを装着した面及び、マスク等口を覆うものを着用すること。

- ⑭ 飲食については、所定の場所以外では行わず、対面を避け、できるだけ周囲と間隔を取って、会話をひかえて速やかに済ませるよう指示する。
- ⑮ 大会前後の移動による感染防止として、公共交通機関による3密の回避を目的とした、宿舎－会場間の直行バスの利用を促す。
- ⑯ ゴミの廃棄について、鼻水や唾液などがついたゴミはビニール袋に入れ密閉して捨てるよう指示する。ゴミの回収時にはマスクやゴム手袋を着用する。マスクやゴム手袋を脱いだ後は、必ず石けんと流水で手を洗い、手指消毒をする。

5. 今後の感染状況により、予防対策の変更及び大会を中止する場合がある。